

## 多様な人材が活躍できる職場づくりの推進の取組

人材が最も重要な経営資源の一つであるという考えのもと、人物本位での採用、男女問わない適材適所の配属を行っている。

取組の一つとして、女性技術者の意見交換会の開催や女性技術者が働きやすい環境づくりの検討など、女性社員の活躍推進に取り組み、2014年に大手建設会社初の女性現場所長が誕生し、女性役職者の割合を増加させている。

# (株)大林組八鹿日高道路久斗トンネル工事現場

## 取組の目的（全社での取組）

- 企業を支えるのは、社員一人ひとりの力であるとの考えから、人間性を尊重し、多様な人材が活躍できる職場づくりを推進することにより、一人ひとりが個々の能力を最大限に発揮できる環境づくりを目指す。
- 「総労働時間の縮減」に向けて「ワーク・ライフ・バランス」を推進する。

## 多様な働き方の取組（全社での取組）

次世代育成支援対策推進法に基づいた第五次行動計画(2015年4月1日から2017年3月31日までの2年間)の策定(2005年4月から第一次計画以後第四次計画まで実施し、目標を達成)

- 目標1 育児休業取得促進  
期間中に男性社員1名以上の取得  
期間中に女性社員の90%以上の取得
- 目標2 短時間勤務制度の拡充  
2015年4月から短時間勤務制度の利用期限を小学校3年生の年度末までに延長
- 目標3 働きやすい環境づくりに向けた取り組みの検討  
育児・介護関連の制度について、社内イントラネット等を活用して情報発信による同制度の利用しやすい環境の整備  
社員が育児に携わりながら建設現場で勤務しやすい環境づくりの検討

男性社員の育児休業取得の目標を達成し、「くるみん」の認定を取得。社員の名刺にくるみんマークを掲載し、多様な働き方の取組を発信している。

## 総労働時間縮減の取組

- 時間外労働縮減の取組み  
ノー残業デーを設定し早期退社を促す。  
全員が毎日退社目標時間を予定表に記入し、見える化を行う。  
この取組により、工事開始時期に比べ時間外労働時間が徐々に減っており、時間外労働縮減に対する社員の意識が定着していることが実感できる。
- 休日確保の取組み  
建設現場では、日々生じる様々な事態に対応しなければならず、休日労働が発生する。当現場では、所定休日を実際に確保するため、前月までに1か月の出勤予定表を作成することとしている。  
この取組により、全職員が月に6日以上の日を確保できている。

## 快適な職場・宿舎環境の取組による人材確保

- トンネル現場では、現場敷地内のプレハブハウスいわゆる「飯場」生活が通常であるが、当現場では、若手職員が現場を離れて気兼ねなく休日を楽しめるように、職員宿舎は個室アパートとし、ベッドや冷蔵庫などの家具を備えくつろげる空間としたことで、若手職員から好評を得ている。
- 掘削現場のため、泥水と無縁ではられない。少しでも快適な環境で働けるよう、現場事務所に食堂、浴室、更衣室、休憩所を完備した。

### コンビニは甘い水？

トンネル工事現場は街から遠く離れた辺鄙な場所になる。作業員宿舎の近くにコンビニがあるかないかは若手人材確保の重要な決め手の一つである。当現場ではコンビニのすぐそばに宿舎を確保できた。

### 八日高道路久斗トンネル工事

八日高道路の整備区間のうち、最も北側に位置するトンネル、総延長 1,471m。



兵庫労働局長が現場を視察

## 女性社員の活躍促進（全社での取組）

- 男女問わない適材適所の配置により、2014年に大手建設会社初の女性現場所長が誕生した。
- 女性役職者比率は2014年現在5.1%と業界トップの水準を達成した。
- 女性技術者の定期的な意見交換会の開催による働きやすい建設現場の環境づくりなどの取組により、2005年の取組開始以降、2014年までに女性役職者は約5倍に達した。
- 平成36年に技術系女性社員の比率を10%程度とすることを目標としている。



トンネル工事現場で、現場監督として勤務する女性社員。ものづくりにあこがれてこの仕事を選んだ。やりがいを感じている。今後、どんな現場でも女性であるということ意識せず働くことができればいいと思っている。



女性社員の意見を取り入れて、事務所棟と離れた位置に専用トイレを設置。働きやすい環境づくりのひとつ。

かつてトンネル工事現場では、女性が現場に入ると事故が起きるといわれ、敬遠されていた。この現場では、女性監督の配置に当たり、女性の存在にかかわらず、現場の一人ひとりの安全対策が事故を防ぐことを、下請けを含めた現場の職人に丁寧に説明した。女性監督はわけへだてなく現場の一員として活躍している。

同現場の女性社員は、2015年6月に豊岡市で開催された、女性技術者がもっと活躍できる建設現場をめざす シンポジウム にパネリストの一人として参加しています。